

令和2年度事業報告

1. 業績の概況

令和2年度は、政府が新型コロナウイルス感染症拡大により初めて発出した緊急事態宣言で始まり、宣言終了後も第2波、第3波と感染拡大が続き、遂に年度内に収束することは無く混沌とした1年間でした。個人における暮らしや働き方には制約と自粛が求められ、感染拡大を予防する新しい生活様式の定着が進み、さらには東京オリンピックの1年延期という前代未聞の方針が示されたことにより、社会・経済活動に多大な混乱と甚大なる経済損失、そして不可逆的な構造変化をもたらしました。

この未曾有の出来事は、当シルバー人材センターにおける事業活動にも深刻な影響を与え、事業所からの契約の打ち切りや縮小が続き、中長期計画目標数値の下方修正も余儀なくされました。さらに、政府が示した感染拡大防止ガイドラインは定時総会・役員会も規模の縮小や書面による会議を実施せざるを得なくなり、シルバーの日をはじめとする様々な行事も中止、対面接触を避けるために事務連絡手段の見直し、新しい情報発信手段の検討も行うこととなりました。このような状況から当期実績は契約金額と就業率が減となった一方、会員数は期中に900人を超えた瞬間もあり、会員数に限っては過去最高となりました。景気の低迷がセンター会員増に繋がったと分析しますが、今後は限られた契約量の中でワークシェアを活用するなど就業率を上げて会員の定着を図り、感染症終息後の契約増に備えることが必要かと思われま

以下、主な事業実績と中長期計画目標達成に向けた取り組み実績について報告いたします。

(1) 当期の主な事業実績

① 会員数	(正会員)	870人	
			*前年度 851名、前年対比 102.2% 【中長期計画目標指数890人 (達成率97.8%)】
② 契約金額	(請負・委任)	346,481千円	
			*前年度 366,940千円、前年対比 94.4% 【中長期計画目標指数375,000千円 (達成率92.4%)】
	(派遣)	63,305千円	
			*前年度 77,739千円、前年対比 81.4% 【中長期計画目標指数75,000千円 (達成率84.4%)】
	(請負・委任、派遣合計)	409,786千円	
			*前年度 444,679千円、前年対比 92.2%
③ 契約割合	(請負・委任、派遣合計)	公共事業 18.2%、民間事業 81.8%	
			*前年度 公共事業 14.7%、民間事業 85.3%
④ 受注件数	(請負・委任、派遣合計)	6,178件	
			*前年度 5,771件
⑤ 配分金額	(請負・委任、派遣合計)	350,747千円	
		就業会員1人当たりの月平均金額38,971円	
			*前年度 375,931千円、前年対比 93.3% *前年度就業会員1人当たりの月平均金額 40,951円
⑥ 就業率	(請負・委任、派遣合計)	86.2%	
			*前年度 (請負・委任実績) 89.9%

【中長期計画目標指数90.0%】

- ⑦ 就業実人員 (請負・委任、派遣合計) 750人
*前年度 765人

(2) 会員数拡大に向けた取り組み

① 会員1人1入会運動の実施

報奨金制度を導入した「会員1人1入会運動」により新規入会者を取り込みました。
・会員1人1入会運動による新規入会者数：10人

② 会員募集チラシの隣組回覧の実施

太田市区長会長会議で「カレンダー付会員募集チラシ」の全戸回覧を依頼しました。
・実施期間：6月に全16地区(市内全98, 313世帯)へ回覧

③ 行政センターだよりへの記事掲載

行政センターが発行する「行政センターだより」に会員募集記事等を掲載しました。
・太田市内全14行政センター

④ 新聞折込の実施

上毛新聞ほか主要新聞の朝刊へ「カレンダー付会員募集チラシ」の新聞折込を実施しました。

- ・実施日：令和2年12月6日
- ・配達地域と部数：太田市全域 20,000部

⑤ 説明会参加者へのアンケート調査

説明会参加者に参加経緯を調査し、運営・広報改善に利用しました。

(3) 就業機会拡大に向けた取り組み

① 市内事業所へのダイレクトメールの実施

コロナ禍により対面による訪問営業が難しい状況であったため、事業部会が中心となって協議した結果、太田商工会議所と太田市新田商工会の協力を得て、それぞれの会員事業所へ「就業開拓リーフレット」のダイレクトメールを実施しました。

- ・令和3年2月 太田商工会議所 3,400通
- ・令和3年2月 太田市新田商工会 1,100通

(4) 安全就業と適正就業に向けた取り組み

① 安全・適正就業委員による巡回指導等

作業現場の「安全パトロール(巡回指導)」と、事故検証・防止策について協議する「安全委員会」を実施しました。また、7月の安全強化月間には役員参加による安全パトロールを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

- ・安全パトロール：10回
- ・安全委員会：12回

② 「安全就業だより」の発行と「安全就業ハンドブック」の配布

「安全就業だより」を発行することで会員へ安全対策の取り組みや事故状況を提供

し、さらに安全標語を募集して優秀作品を表彰する安全標語コンクールを実施することで安全就業意識を高めました。

- ・安全就業だより：年4回発行（7月、9月、1月、3月）
- ・安全標語最優秀賞：川島嘉吉会員「怖いのは 慣れや油断の 気のゆるみ」

※安全標語応募数：56作品

新規入会者には「安全就業ハンドブック」で安全に対する意識付けを行いました。

- ・安全就業ハンドブック：新入会員141人（冊）へ配布

③ 交通安全講習会の実施

全国的に高齢ドライバーによる事故が多発していることから、太田市交通安全専門員へ依頼し、会員向けの「交通安全講習会」を実施しました。

- ・交通安全講習会：令和2年8月24日 宝泉行政センターにて 58人参加

④ 安全就業講習会の実施

事故が多発していることから、県シルバー連合安全指導員を講師に迎え、「安全就業講習会」を実施しました。

- ・安全就業講習会：令和3年3月10日 宝泉行政センター 59人参加

⑤ 適正就業ガイドラインに沿った業務運営

厚生労働省と全国シルバー人材センター事業協会がまとめた「適正就業ガイドライン」を会員と発注者へ配布し、適正な受注と就業を周知徹底しました。

（5）普及啓発・社会参加活動の取り組み

① 会報なかまの発行

会報編集委員会の委員が中心となって「会報なかま」を編集・発行し、市内公共施設22箇所へ設置依頼し、センターの活動内容を周知しました。

- ・会報なかま：年4回発行（7月、9月、1月、3月）

② シルバーだよりの発行

広報おおた特集記事「シルバーだより」を制作し、センターの普及啓発を実施しました。

- ・シルバーだより：発行日 令和2年10月1日 78,000部

③ 広報おおたの活用

アンケート結果から「広報おおた」の利活用が最も有効であったことから、センターの情報提供を行い、市民への普及啓発を図りました。

- ・掲載：2月15日号（植木・除草作業（令和3年度）の予約受付開始）

④ 太田コミュニティFM放送局エフエム太郎の活用

エフエム太郎へちよいとサポート事業の「20秒CM」の放送委託をしました。

- ・放送：令和2年4月1日から令和3年3月31日まで 合計549回放送

⑤ ホームページの公開

インターネットによる情報発信は広報活動の主流であることから、センターホームページの内容を積極的に更新しました。

- ・年間アクセス数：40,249件

⑥ ツイッターの公開

広報部会を中心にホームページを補完する情報発信手段を検討し、国内で最も利用されているSNSである「ツイッター(Twitter)」によるセンター公式アカウントを

開設し、センターにおけるタイムリーな事業活動を公開しました。

⑦ **社会貢献活動の実施**

清掃ボランティア活動を行う「シルバーの日」は、毎年10月第三土曜日に太田駅南口周辺と新田庁舎周辺でゴミ拾い活動を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

⑧ **リーフレット、ポケットティッシュ等の配布**

広報部会と編集委員会がショッピングモールやイベント等に参加して普及啓発活動を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

⑨ **太田市高齢者支援サービス事業「ちよいとサポート事業」の受託**

社会参加活動として、高齢者世帯の生活の充実と日常のちょっとした困りごとを解決する「ちよいとサポート事業（ちよいサポ）」を太田市から受託しました。

- ・受託件数：1,658件（目標数1,200件）
- ・ちよいサポ隊会員数：75人

(6) 会員の技能及び資質の向上に向けた取り組み

① **講習会の実施**

会員の帰属意識を深めて様々な見識を深めるために講習会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

- ・ライブビューティー講座（群馬県シルバー連合助成事業）
事業実施・講師：業者委託

② **技能講習会の実施**

除草作業会員の技術力向上のため講習会を実施しました。

- ・ハンマーナイフ安全技能講習会
事業実施・講師：業者委託

実施日：令和2年9月14日 宝泉行政センター（座学）、宝泉遊水池（実地講習）
参加者数：除草作業会員16人

(7) 組織運営体制の強化に向けた取り組み

① **専門部会（総務部会、事業部会、広報部会）の活動**

専門部会は、役員で構成された3部会各々が委員会を開催してセンターの運営について協議するものですが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためそれぞれ委員会を1回開いたのみとなり、満足な活動が出来ませんでした。

② **厚生会との連携**

連携強化のため職員が厚生会主催各種イベントに参加して交流を深めておりましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントの全てが中止となり、交流推進が十分に出来ませんでした。